

Q 子どもたちに国際教育を

A できるように検討したい



松本 一二美 議員



松前町から国際貢献の波動

子どもの笑顔は
世界共通



青年海外協力隊の活動の様子

問

① 青年海外協力隊経験者との交流会実施を。

② 海外の交流で視野を広げる取り組みの復活を。

子どもたちに、国際教育の推進を提案するが見解は。

答
町長

① 青年海外協力隊経験者の現地体験談などを通し、異国の生活習慣や国際協力の意義を学び、国際的視野を広げることにも国際教育の一つと考える。

総合的な学習の時間などを利用して、テーマに沿った学習ができるよう検討したい。

② 松前町は現在、海外には姉妹都市がない。将来、姉妹都市を提携したいので、提携後の交流事業の中で子どもたちが海外交流できるよう考えている。学校や関係機関と協議しながら具体的な方策を検討したい。

問
子ども議会の開催を

答
学校に働きかけ
町長

情操教育と松前町への関心を高める、子ども議会開催の考えは。

問
ピロリ菌検査の公費負担を

胃がんの大きな要因とされるピロリ菌の感染有無検査の公費負担を。

答
国の方針に従う
健康課長

国では、除菌の有用性について内外の知見もとに検討している。研究成果が集積され、将来的に国の新たな方針が示されたときには対応したい。

問
日曜議会の開催を

今秋、議場音声改善される。開かれた議会改革の一步として、日曜議会開催の考えは。

答
議員の総意があれば
町長

議会の招集権は町長にあるが、議員の総意であれば考える。

問
その他の質問
緊急地震速報機設置
推進を

答
導入の考えはない。